

企業経営を楽しくするために、効果の出るやり方を作ってそれに集中しましょう。

%company%
%free1%
%free2%
%name_sama%

◆全4回シリーズ、AIリテラシー勉強会

AI活用のポイントを全4回で解説。
会社の成長に役立つ考え方と具体的な現場への導入事例を学び、
ビジネスを次のステージへ導くヒントをお届けします。

※リテラシー (literacy) とは、
英語で「読み書きの能力」や「識字能力」を意味する言葉ですが、
現在では「特定の分野に関する知識や能力、それを応用する能力」
という意味で使われるのが一般的です。

- 【済】◆第1回 “AI” を経営に役立てるには？
◆第2回 ChatGPT, Copilot, Gemini の使い分け
◆第3回 使いこなすために必要なこと
◆第4回 具体的なAI現場活用事例

~~~~~  
第2回 ChatGPT, Copilot, Gemini の使い分け

- 【目次】  
■ はじめに  
■ 各ツールの概要と特徴  
■ ChatGPT:自然言語でのコミュニケーションの強化  
■ Copilot:プログラミング、Officeとの連携で活用  
■ Gemini:複合的なタスクの管理と最適化  
■ ツールの組み合わせによるシナジー効果  
■ 結論:最適なツール選定が鍵

AIツールは日々進化しており、それぞれが異なる強みを持っています。

特にビジネスシーンでは、  
ツールを適材適所で使い分けることで、企業の生産性を最大化し、  
効率的に目標を達成することができます。  
各 AI ツールには独自の強みと用途があり、これを理解して適切に選択することで、  
業務プロセスを最適化できます。

今回は主要な自然言語 AI である、「ChatGPT」「Copilot」「Gemini」の  
それぞれのツールがどのような役割を果たし、  
どのようなシーンで最適なのかを明確にし、読者に活用のヒントを提供します。

## ■ 各ツールの概要と特徴

### ◆ ChatGPT

▼開発元: OpenAI

▼主な機能: 文章生成、翻訳、質問応答

▼特徴:

- ・汎用性: 幅広いタスクに対応可能。カスタマーサポート、文章作成、アイデア出しなど。
- ・自然な対話: 人間のような自然な文章を生成し、直感的に操作可能。
- ・創造性: ストーリーや詩など、創造的な文章生成が得意。

▼おすすめの利用シーン:

- ・カスタマーサポート: 自動応答や FAQ の作成。
- ・マーケティング: 広告文やブログ記事の作成。
- ・翻訳: 多言語対応が必要な場合。

### ◆ Copilot

▼開発元: Microsoft

▼主な機能: コーディング支援、コード生成、文書作成支援

▼特徴:

- ・開発者向け: コードの自動補完や提案に強く、プログラミング作業を効率化。
- ・Office 連携: Word や Excel などの Microsoft Office アプリケーションとシームレスに連携。
- ・リアルタイム支援: コーディング中のエラーチェックや改善提案。

▼おすすめの利用シーン:

- ・ソフトウェア開発: コードの自動補完やエラーチェック。
- ・データ分析: Excel でのデータ整理や分析。
- ・文書作成: Word でのレポートやプレゼンテーションの作成。

## ◆Gemini

▼開発元: Google

▼主な機能: 情報収集、文章生成、翻訳、マルチモーダル対応

▼特徴:

- ・最新情報の活用: Google 検索と連携し、最新の情報を基に回答を生成。
- ・マルチモーダル対応: テキスト、画像、音声、動画など多様な入力に対応。
- ・Google Workspace 連携: Gmail や Google ドキュメントとのシームレスな連携。

▼おすすめの利用シーン:

- ・情報収集: 最新の情報を基にしたレポート作成。
- ・クリエイティブ作業: 広告文やコンテンツの作成。
- ・プロジェクト管理: Google Workspace を活用したプロジェクトの計画と管理。

## ■ChatGPT:自然言語でのコミュニケーションの強化

まず、ChatGPT は言語処理に特化した AI ツールです。

自然言語での会話が得意で、テキスト生成、質問応答、アイデア出しなどに幅広く活用できます。このツールは、特にビジネスにおいて文書作成やコミュニケーション支援に力を発揮します。

### ★事例 1:社内の効率化を図るための ChatGPT 活用

ある中小企業では、営業担当者が毎日大量のクライアントとのやり取りをしており、その報告書作成に多くの時間がかかっていました。

この会社では、ChatGPT を導入し、クライアントとのメールや会話ログをもとに、レポートの自動生成を行うようにしました。ChatGPT は自然な文体で報告書を作成するため、担当者は作業の最終確認をするだけで済み、毎日数時間を節約することができました。

これにより、営業チームはより多くの顧客と面談し、戦略的な活動に集中できるようになりました。

また、ChatGPT を用いた顧客対応チャットボットも広く採用されています。

たとえば、ある E コマース企業では、カスタマーサポート業務の一部を ChatGPT で自動化しました。

これにより、顧客からの問い合わせ対応時間が大幅に短縮され、顧客満足度が向上しました。

さらに、サポート担当者は複雑な問題に集中できるようになり、顧客対応の質も向上しました。

### ■ Copilot: プログラミング、Office との連携で活用

一方、Copilot はソフトウェア開発や技術的な作業に特化した AI です。プログラムコードの作成や補完、デバッグなどを自動でサポートするこのツールは、特にエンジニアや開発者にとって非常に強力な助けとなります。

また Copilot は、Word や Excel などの Office アプリとシームレスに連携し、文書作成やデータ分析を効率化します。

Word では、文書の自動生成や編集支援を行い、作業時間を大幅に短縮します。Excel では、データの整理や複雑な分析を自動化し、瞬時に結果を得られます。Outlook では、スケジュール管理を効率化し、リマインダー設定や会議の調整も自動で行います。

これにより、ユーザーは手間のかかる反復作業から解放され、より重要なタスクに集中できるようになります。

### ★事例 2: Copilot を活用したコード作成の効率化

ソフトウェア開発企業では、Copilot を使って新しいソフトウェア機能のプロトタイプを迅速に作成しています。

従来、開発者がゼロから書いていたコードの一部を、Copilot が自動的に生成し、必要な部分を補完します。

特に初期段階の開発では、基本的なコードの作成を Copilot が支援し、エンジニアは設計や高度なアルゴリズムの部分に集中できるようになりました。これにより、開発スピードが 20% 向上し、製品の市場投入が早まりました。

さらに、Copilot はデバッグ支援にも非常に効果的です。

あるスタートアップでは、リリース前のソフトウェアのバグ修正に Copilot を導入しました。Copilot はコードの不整合や潜在的な問題を自動で指摘し、修正案を提案します。これにより、デバッグ作業にかかる時間が大幅に短縮され、開発者の負担も軽減されました。

### ■ Gemini: 複合的なタスクの管理と最適化

最後に紹介する Gemini は、ChatGPT や Copilot とは異なり、複数のタスクを同時に処理し、業務全体を最適化する「統合型 AI」です。

Gemini は企業の特定のニーズに応じてカスタマイズ可能で、複雑な業務管理やプロジェクトマネジメントなど、複数の業務を効率的に進行するための強力なサポートを提供します。

#### ★事例 3: Gemini を使ったプロジェクト管理の自動化

建設業界のある企業では、大規模なプロジェクトの管理に Gemini を導入しました。

従来、プロジェクトマネージャーが個別に進捗を管理し、リソースの割り当てや調整を行っていたところを、Gemini が全て自動化しました。Gemini は、プロジェクトの進捗状況や各タスクの完了率をリアルタイムで分析し、次に必要なアクションを提示します。

さらに、チームメンバー間のタスクの優先順位を自動で調整し、スケジュールが遅れないようにプロアクティブに対応しました。

この結果、プロジェクトの遅延が 20%削減され、コスト管理も効率的に行えるようになりました。

Gemini はリソースの配分や最適化をリアルタイムで行うため、プロジェクトマネージャーの負担も軽減され、チーム全体がより戦略的に動けるようになりました。

#### ■ツールの組み合わせによるシナジー効果

これら 3 つのツールは、それぞれ異なる特性を持ちながらも、組み合わせることでさらに大きな効果を発揮します。

たとえば、ChatGPT でビジネスコミュニケーションのサポートを受けつつ、Copilot で技術的な作業を効率化し、最終的に Gemini でプロジェクト全体を管理することで、ビジネスプロセス全体を最適化することができます。

#### ★事例 4: 3 つのツールを組み合わせた統合運用

IT コンサルティング会社では、複数のプロジェクトを同時進行で運営しており、各チームに AI ツールを適材適所で導入しました。

ChatGPT は顧客対応とミーティングの議事録作成をサポートし、

Copilot は技術チームでのソフトウェア開発の自動化を担いました。  
そして Gemini が、プロジェクト全体の進行管理を行い、  
リソースの割り当てやタスクの優先順位付けを最適化しました。

これにより、各チームがそれぞれの専門領域に集中できる環境が整い、  
全体的なプロジェクト遂行力が向上しました。  
さらに、全体の業務プロセスが可視化され、リソースの最適な活用が可能になりました。

この会社では、AI ツールを導入後、プロジェクト完了までの時間が約 25%短縮され、  
顧客満足度も向上しました。

#### ■結論:最適なツール選定が鍵

「ChatGPT」「Copilot」「Gemini」の 3 つの AI ツールは、  
それぞれが異なる強みを持っていますが、  
適切に使い分けることで、業務の効率化や生産性向上に大きく貢献します。

#### ◆使い分けのポイント

汎用性と創造性が求められる場合は ChatGPT。  
コーディングや Office アプリとの連携が必要な場合は Copilot。  
最新情報の収集や Google 製品との連携が重要な場合は Gemini。

それぞれの AI の強みを活かして、業務の効率化や生産性向上を図ることができます。  
どの AI が最適かは、具体的なニーズや利用シーンに応じて選ぶと良いでしょう。

#### ◆AI に関するご相談は、

<https://www.facebook.com/MRCkazu>  
まで

いかがでしたでしょうか？楽しみいただけましたか？

次回は

ChatGPT や生成 AI、日々あふれる AI に関する情報  
我々は経営者として AI とどのように向き合い  
どこでどのように活用していけばいいのか？

◆全 4 回シリーズ、AI リテラシー勉強会

AI 活用のポイントを全 4 回で解説。

会社の成長に役立つ考え方と具体的な現場への導入事例を学び、  
ビジネスを次のステージへ導くヒントをお届けします。

第 3 回 使いこなすために必要なこと

をお送りいたします。

お楽しみに！

編集長:岩下 一智 MRC

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍

渋沢栄一翁の 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく申し上げます。

次回、第 668 号は……

◆全 4 回シリーズ、AI リテラシー勉強会

AI 活用のポイントを全 4 回で解説。

会社の成長に役立つ考え方と具体的な現場への導入事例を学び、  
ビジネスを次のステージへ導くヒントをお届けします。

### 第3回 使いこなすために必要なこと

を24・9・27(金)にお届けする予定ですので、  
楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC